八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター＜わいぐ＞」
情報誌
2023.10 月号 No.81

WAIGU

～もくじ～
●登録団体のご紹介……1
●わいぐ情報クリップ……2
●スタッフおすすめ わいぐライブラリィ……2
●わいぐ活動報告……3
●助成金情報……4
●編集後記……4



●登録団体のご紹介●

新田城まつり運営委員会



会長　**髙橋芳久**さん

当団体は、平成 17 年にスタートした地域おこしの行事である「新田城まつり」を実施するための活動主体となる委員会です。その中心母体は、ふるさとのよさや歴史・文化を継承し、住みよいまちづくりを積極的に進めている大館地区自治振興会になります。

江戸時代、当地域を治めていた 12 代城主新田義実（にいだよしざね）は、南部藩主の命により、遠野への国替えとなりました。その出立行列を再現したのが「新田城まつり」です。

まつりでは、出立行列を中心に、神楽、御輿、婦人踊り等総勢 300 名を超える行列で地域を回ります。関係スタッフも含めると、まつり当日は総勢 900 名を超える人々が活動しています。例年 10 月の第一日曜日に実施しており、今年度は 4 年ぶり、第 19 回目のまつり開催となりました。

昨今では小・中学校が連携・協力し、行列参加やアトラクションへの出演、







ボランティアなどで、まつりに積極的に参加してくれています。

遠野市との交流も行われ、「遠野さくらまつり（南部氏入部行列）」と「新田城まつり」に相互に参加することで、時を超えた南部氏の縁による交流を続けています。

今後まつりを継続するうえでネックとなっているのが、運営委員会のメンバーや協力者の高齢化が進んでいることです。若い力、また外部からの人材をいかに取り込み、運営委員会の活性化を図っていくかが大きな課題です。

わいぐ交流会を開催します。

未来に向かい、新しい活動へ出発！

参加無料



日時：令和 5 年 11 月 12 日（日）10:00 ～ 15:00

場所：八戸ポータルミュージアムはっち　はっちひろば＆ギャラリー 1



内容

基調講演

テーマ「地域連携・協働のポイント」

講師　堤　静子さん（八戸学院大学）

講師　大野和弘さん（八戸工業大学）

その他

・市民活動団体による
　活動紹介やステージ発表

・わいぐキャラクターネーム発表　など

わいぐでは、登録団体を対象に SNS 講座を行っています。

個別のニーズにお応えするべく、各 SNS の登録の仕方や、基本的な使い方、運用する上での疑問など受講者に合わせた講座です。

毎月第 2、第４金曜日 ①15:30 ～ 16:30
②19:00 ～ 20:00

参加費無料。前日までの完全予約①②各 1 名（同団体 2 名まで）

※どんなことを習いたい（聞きたい）かを予約時にお知らせください。

市民活動をサポートする情報をお届けします。

助成金や講座の情報など

八戸市市民活動サポートセンター
ふれあいセンター わいぐ

個人メール会員 募集

〒039-1166 八戸市根城8丁目8－155 八戸市総合福祉会館3階
TEL：0178-73-3311　FAX：0178-73-3312　メール：support@waigu.info
https://www.waigu.info/

●個人メール会員を募集します。
イベントや助成金など、わいぐから各種情報がメールで提供されます。
登録は無料。左の QR コードからお申し込みください。

※詳しくは、わいぐまでお問い合わせください。

スタッフおすすめ わいぐライブラリィ

わいぐでは、住民活動に役立つ書籍や冊子を閲覧できます。
また、わいぐ登録団体の会員へは貸し出しをしています。

世界一やさしい「やりたいこと」の見つけ方

著者：八木仁平
発行：株式会社 KADOKAWA

「やりたいこと探し専門プログラム」を開発した著者が教える初めての本。やりたいことは運命的に出会うものではなく、体系立てて論理的に見つけるもの。やりたいことの見つけ方が 3STEP で体系立てて理解できる、自己理解の教科書です。迷いだらけの自分探し旅を終えて、次のステップへ踏み出そう！

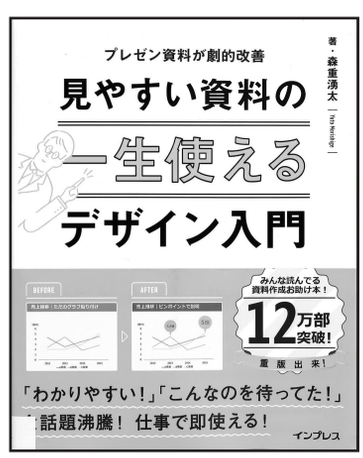


見やすい資料の一生使えるデザイン入門

プレゼン資料が劇的改善

著者：森重湧太　　発行：株式会社インプレス

実務ですぐに役立つ資料デザインの入門書です。「見やすさ」を意識し、文字や図表、色の使い方、レイアウトにほんの少し気を配るだけで、資料の仕上がりはぐっと見違えてきます。ビフォー→アフターの大きな作例を見ながら、誰でも簡単に見やすい資料作りのコツを習得できます。読み終える頃には、あなたの資料も「見やすい資料の 10 箇条」に当てはまる資料に変わっているはずです。



令和５年度八戸圏域住民活動促進講座「協働のまちづくり研修会」





［テーマ］

若者が参加したくなる活動のつくり方

～世代を超え、みんなと共にまちづくり～

日時：令和５年８月27日（日）
13:30～15:40
場所：八戸ポータルミュージアムはっち２階シアター２

講師：NPO 法人わかもののまち
代表理事　**土肥潤也**　さん

まちづくりに興味のある方、市民活動や地域コミュニティ活動をしている方を対象に行われた講座は、高校生を含む 30 人の参加者がありました。

テレビのコメンテーターや内閣府「若者円卓会議」委員などを務めたという講師の土肥さんは今までにない講座の進め方で、参加したい活動は？　参加したくない活動は？　を書き出してと投げかけるなど、会場内は思いもかけない質問で頭をひねりながら、真剣に書き出していました。





出前わいぐ in 新郷村

新郷ふるさとまつり
間木ノ平グリーンパーク
10月８日（日）
10:00～15:00

好天に恵まれ、特産品や地場産品の販売会場にはたくさんの買い物客が。わいぐのブースにたくさんの方が足を止めてくださり、わいぐを PR することができました。中には興味を持った団体のチラシやパネルを長い時間をかけて見入っている方もいました。



出前わいぐ in 田子町

田子ひとくるめゃ文化祭
田子町農業者トレーニングセンター
10月21日（土）22日（日）
9:00～15:00

開催中、時々降る雨にもかかわらず、たくさんの方で賑わった文化祭でした。町民や子どもたちの作品がたくさん並ぶ中に、展示しました。昨年、田子町で行った住民活動促進講座に参加した方や、出前わいぐで知り合った方などが来てくれました。



自主事業

若者活動促進プログラム
八戸を楽しみ盛り上げるチームによる
活動報告と情報交流会 in わいぐ
９月９日（土）13:30～16:00
<わいぐ情報交流サロン>

～チーム・世代・活動歴の枠を越えて・協働を考えよう～と題して行われたミニワークショップでは、「つながりたいと思っている人は思ったより多いんだなあ」「おもしろいことをしている人は結構いる」「気のいい知り合いを増やしたい」「わいぐに来てみたかったので参加した」というような発言が出ました。

「八戸にはいろんな活動が展開されていることを初めて知った」などの感想をいただき、横の繋がりにニーズがあることを再確認した一日でした。



助成金情報

※その他の助成金情報は「わいぐ HP」でもご覧いただけます。

まちづくりインターン助成金制度

◇まちづくりインターン助成金制度とは

市民活動団体や地域コミュニティ活動団体が八戸圏域内市町村で行う、公益性のあるまちづくり活動への学生・高校生のボランティア参加を支援することにより、学生や高校生の社会参加を促進するとともに、地域における若い力の浸透を図ることを目的としています。

◇申請締切日

令和６年１月31日（水曜日）まで

◇対象団体

市民活動団体（ボランティア団体・NPO 法人等）や、地域コミュニティ活動団体（町内会・子ども会・PTA 等）で、次の要件をすべて満たす団体が対象となります。

◎八戸圏域内（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）に拠点があること

◎団体の構成員が５人以上であること

◎団体の意思を決定し、執行する組織が確立されていること

◎法人の場合、法人市民税・固定資産税・軽自動車税をz　滞納していないこと

◎公共の利益に反する行為を行わない団体であること

◎今年度、当助成金の交付を受けていないこと

◇対象事業

令和５年４月１日から令和６年１月31日までに八戸圏域内で行われる公益性のあるまちづくり活動のうち、八戸圏域内に所在する大学、短大、高専、専門学校、専修学校等の学生、または高校生が参加する公益性のあるまちづくり活動

(注意 1) すでに完了した事業も助成対象です。

(注意 2) 中学生は対象になりません。

◇対象経費・助成金額

◎活動に参加した学生又は高校生に支払う交通費又は謝礼に要する経費

◎学生又は高校生が参加する活動１回につき１人あたり1,000 円以内、1 事業 合計 20,000 円を上限に助成します。

◇詳細につきましては市民連携推進課のホームページをご覧ください。

https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/shiminrenkeisuishinka/kyodonomachizukuri/2/4147.html

ホームページ（QR）

【申請・お問い合わせ先】

総合政策部 市民連携推進課 地域連携グループ

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1 番１号　市庁本館４階

電話：0178-43-9182　FAX：0178-47-1485

Ｅメール：renkei@city.hachinohe.aomori.jp

編集後記

今盛んに叫ばれている SDGs ですが、何か私達に関わりがあるのだろうかと考えてしまいます。

先日、新聞の記事で SDGs の 17 番目は「目標を達成するために皆で協力することを目指すもの」とありました。多くの人々がお互いに助け合い協力しあうことで解決できる問題があるのです。

「わいぐ」に集うボランティア団体の皆さんが地域の人達のためにいろいろな活動をしています。その活動に理解を示し、ほんの少し協力することで、いろいろな事柄は変わっていくのです。

SDGsの17番目……。季節は今、じっくり考えてみたくなる秋の夜長です。

（松原新一）

～編集発行～
八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター わいぐ」

●編集●
公募編集委員＝松原新一・
佐々木彩子・黒澤美智子
わいぐスタッフ

〒039－1166
青森県八戸市根城八丁目８－155
八戸市総合福祉会館
（はちふくプラザ　ねじょう）３階
TEL　0178－73－3311
FAX　0178－73－3312
E-mail support@waigu.info
HP　https://www.waigu.info/

facebook
（八戸市市民活動サポートセンターわいぐ）で検索
⇧こちらもご覧ください

わいぐ HP
⇦わいぐの HP はこちらからも見ることができます。

～「わいぐ」という名前について～

青森県南部地方の「私、行く（わぁいぐ）」という方言が元になっています。「市民が積極的に社会の問題に取り組むきっかけの場所になるように」という願いが込められています。

八戸市市民活動サポートセンターふれあいセンターわいぐは、指定管理者企画集団 With you が管理・運営しています。